

コンセプト（案）：「景観を楽しみ、使い育てる橋」

「景観形成と通行安全の確保」

- ・上流側は滞留空間を重視
- ・下流側は通行空間を重視

「地域の意見を踏まえた整備」

- ・宝塚景観審議会による有識者との意見交換
- ・アンケート調査による意見聴取（12/27～1/17 実施：約 1,900 件回答）
- ・意見交換会による意見聴取（5/29 開催予定）

「パートナーシップによる景観の保全・育成」

- ・地域、宝塚歌劇、手塚治虫記念館、植木産業等との協働の取組を協議、検討

整備方針

1. にぎわいを育む橋

- ・南口駅から劇場方面に導くしくみ
- ・橋詰部に多機能広場環境を整備
- ・観光プロムナード全体の調和をはかる整備

2. 立ち寄りたくなる橋

- ・宝塚の風景に調和した歩道空間
- ・宝塚の代表的景観を演出する歩道空間
- ・橋上からまわりの風景が楽しめる歩道空間
- ・安らぎを感じる「みどり」のある歩道空間

3. 利用者が安心して  
通行できる橋

- ・今の利用状況に対応した通行安全性確保
- ・災害時にも頼れる安全な道路機能の確保

4. 長く使い続けること  
ができる橋

- ・老朽化に対応したメンテナンスの実施
- ・維持管理を考慮した施設の採用と配置
- ・SDGs の推進

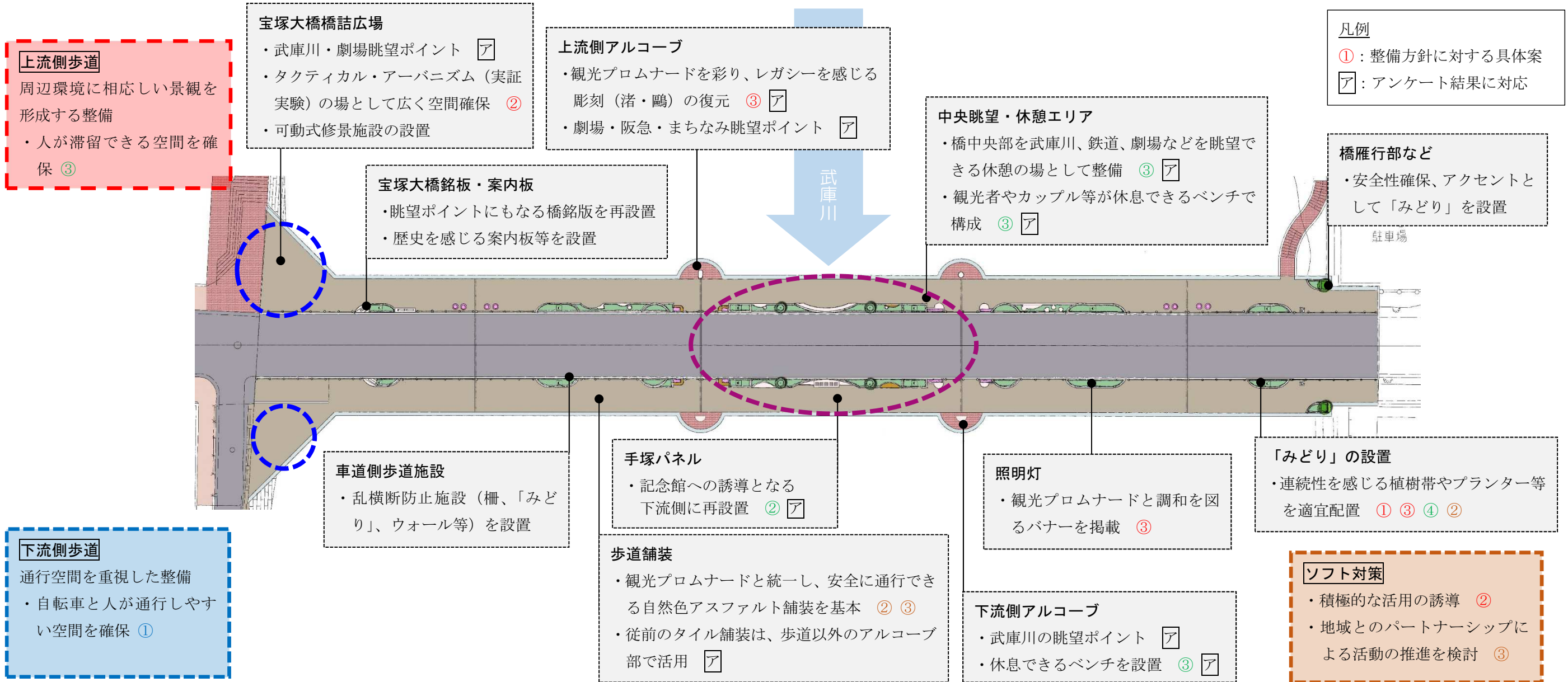
具体策

- ①連続性を感じる橋上緑地帯等の整備
- ②タクティカル・アーバンイズム（実証実験）の場としての空間確保
- ③「みどり」・彫刻・バナー等による調和

- ①風景になじむ色彩による調和
- ②彫刻「渚」、「鷗」や手塚パネルの再設置
- ③眺望を楽しみ、休憩談笑できるベンチ等の設置
- ④維持管理を考慮した「みどり」の配置

- ①周辺利用者の増加を考慮した歩道幅の確保
- ②橋梁の補修による長寿命化と耐震化

- ①橋梁の維持修繕と点検の実施
- ②修繕しやすい舗装材や維持管理を考慮した「みどり」の活用
- ③歩道の拡幅による交通の安全性改善、災害に対する強靱さの向上、地域とのパートナーシップによる活動の推進



凡例  
①：整備方針に対する具体案  
ア：アンケート結果に対応

**上流側歩道**  
周辺環境に相応しい景観を形成する整備  
・人が滞留できる空間を確保 ③

**下流側歩道**  
通行空間を重視した整備  
・自転車と人が通行しやすい空間を確保 ①

**宝塚大橋橋詰広場**  
・武庫川・劇場眺望ポイント ア  
・タクティカル・アーバンイズム（実証実験）の場として広く空間確保 ②  
・可動式修景施設の設置

**上流側アルコーブ**  
・観光プロムナードを彩り、レガシーを感じる彫刻（渚・鷗）の復元 ③ ア  
・劇場・阪急・まちなみ眺望ポイント ア

**宝塚大橋銘板・案内板**  
・眺望ポイントにもなる橋銘版を再設置  
・歴史を感じる案内板等を設置

**中央眺望・休憩エリア**  
・橋中央部を武庫川、鉄道、劇場などを眺望できる休憩の場として整備 ③ ア  
・観光者やカップル等が休息できるベンチで構成 ③ ア

**橋雁行部など**  
・安全性確保、アクセントとして「みどり」を設置

**車道側歩道施設**  
・乱横断防止施設（柵、「みどり」、ウォール等）を設置

**手塚パネル**  
・記念館への誘導となる下流側に再設置 ② ア

**照明灯**  
・観光プロムナードと調和を図るバナーを掲載 ③

**「みどり」の設置**  
・連続性を感じる植樹帯やプランター等を適宜配置 ① ③ ④ ②

**歩道舗装**  
・観光プロムナードと統一し、安全に通行できる自然色アスファルト舗装を基本 ② ③  
・従前のタイル舗装は、歩道以外のアルコーブ部で活用 ア

**下流側アルコーブ**  
・武庫川の眺望ポイント ア  
・休息できるベンチを設置 ③ ア

**ソフト対策**  
・積極的な活用の誘導 ②  
・地域とのパートナーシップによる活動の推進を検討 ③